

第3章 計画の内容

基本目標 I

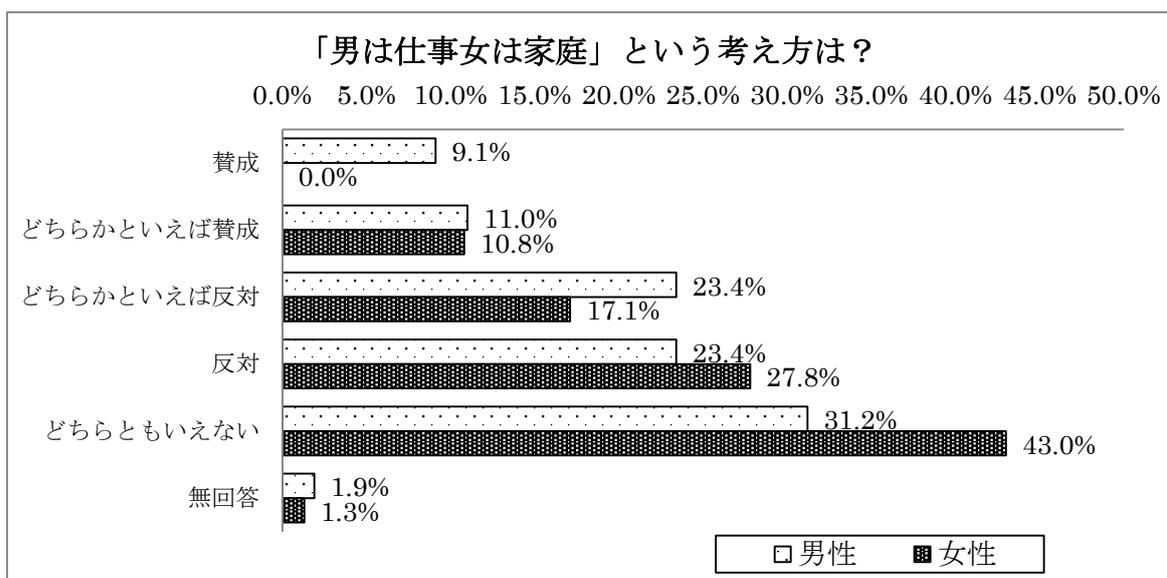
男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり

男女共同参画社会の実現に向けた取組みとして、性別役割分担意識を解消し、お互いを尊重し合うことが重要であることから、本市においては、これまで市民に対し啓発活動や各種講演会等を通じ、意識づくりの推進を図ってきました。

しかしながら、本市が実施した市民意識調査では、「男性は仕事、女性は家庭」という考え方に対して、平成 21 年度では「反対・どちらかといえば反対」が 38.9%平成 27 年度においては 46%となる回答があり、男女共同参画に対する意識づくりについては、わずかに上昇したものの浸透しているとはまだ言えない状況です。

このようなことから、地域社会や職場、家庭内などにおける女性の立場が確立され、更に、男女がお互いの立場を尊重し、共同して豊かな生活が送られるような社会システムの構築と、男女共同参画に対する市民意識のより一層の醸成を図る必要があります。

- 主要施策 1-1 男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革
- 主要施策 1-2 男女共同参画を推進する学習・教育環境の整備



資料：平成 27 年度日南市男女共同参画社会づくりのための市民意識調査

主要施策1－1 男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革

現状と課題

人々の意識の中に長い時間をかけて形作られてきた性別に基づく役割分担意識は、男女共同参画社会の実現に大きな阻害となっています。このような意識は時代とともに変わりつつあるものの、いまだ根強く残っています。本市が実施した市民意識調査によると、「男女平等になっているか」との質問に対し、学校・教育現場については56%の人が「平等」と回答をしたところですが、社会全体として71.1%、政治や行政で65.9%の人が「男性が優遇・どちらかといえば男性が優遇」と回答しています。

また、「しきたりや慣習で」「家庭の中で」の分野においても男性優遇感が高くなっています。

家庭や社会において女性の立場の確立が遅れ、男女ともに、男女共同参画に対する意識が薄れていることが伺えます。

更に、職場や家庭、地域社会において、「女性だから」「女性のくせに」というような、男性を優遇するしきたりや慣習が根強く残っていることが、女性が自ら積極的に活動することの弊害になっています。

反面、女性には「男性にしかできないことだから」「女性には無理」と言った諦めや、男性を頼る風潮があることも否めない事実です。

このようなことから、職場や家庭、地域において男女が平等な生活を送ることができ、お互いが尊重し合える社会づくり、更には、女性が自らの立場を確立できるための支援と意識改革、市民全体の意識醸成が望まれています。

施策の展開

1 男女共同参画に対する社会全体の意識の醸成

男女が性別にとらわれずに、お互いを尊重して豊かな生活を過ごしていくため、「男女共同参画社会づくり」の理念を広く社会へ浸透させる取り組みを行います。

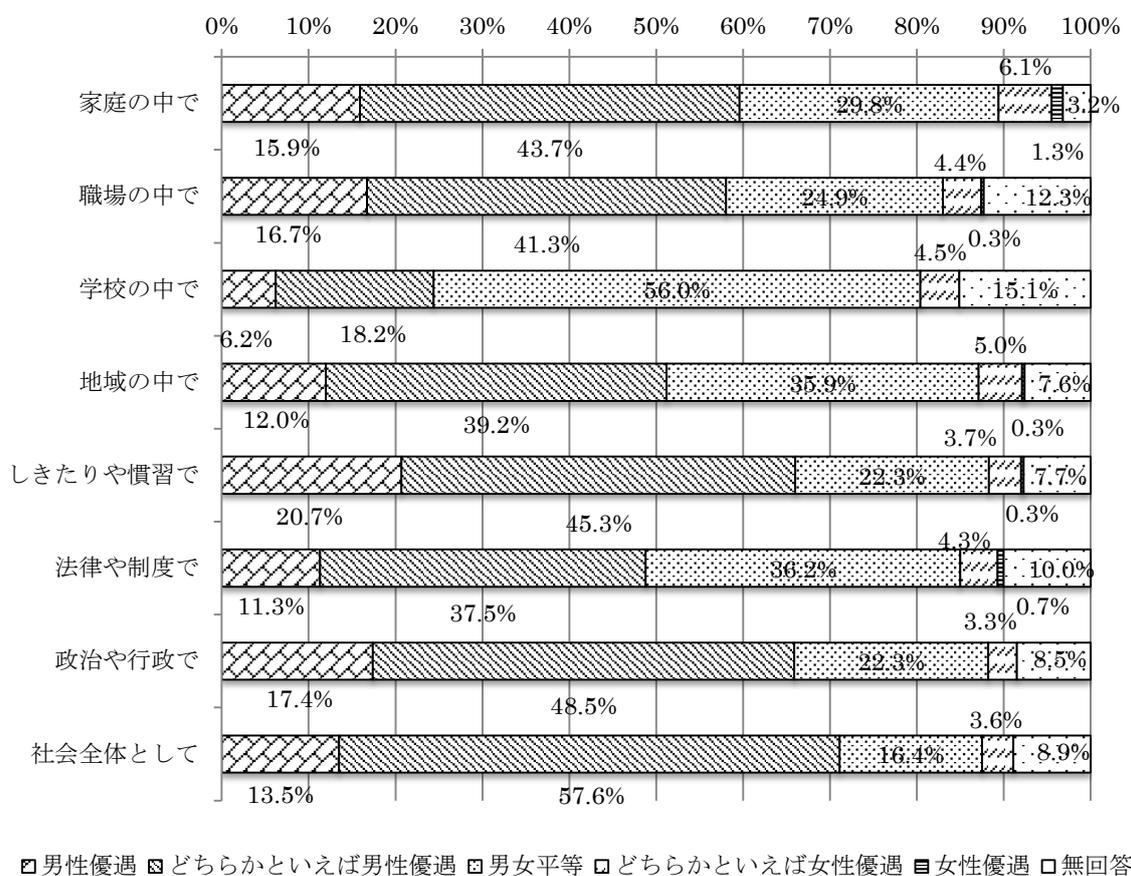
2 男女共同参画社会づくりの広報・啓発の推進

市広報紙による広報活動の充実や、市民を対象とした講演会や講座の開催に取り組みます。

3 女性自身が地位の確立をしていくための施策の展開

女性がしきたりや慣習に関係なく、「女性が自ら考え、自ら行動できる」立場を確立するための集いや基礎講座の開催に努めます。

男女の地位の平等性は？



平成 27 年度日南市男女共同参画社会づくりのための市民意識調査

施策指標

| 施策の指標 | 単位 | H 21 年度 | 現況値 (H26 年度) | 目標値 (H32 年度) |
|--|----|---------|-----------------|-----------------|
| 男女共同参画に関する講演会・講座等の参加者数 | 人 | 456 | 382 | 650 |
| 社会全体での男女の地位は平等になっていると感じる人の割合 | % | 23.6 | 16.4 | 35.0 |
| 「男は仕事」「女は家庭」という性別による固定的役割分担の考え方に反対する人の割合 | % | 38.9 | 39.7 | 50.0 |

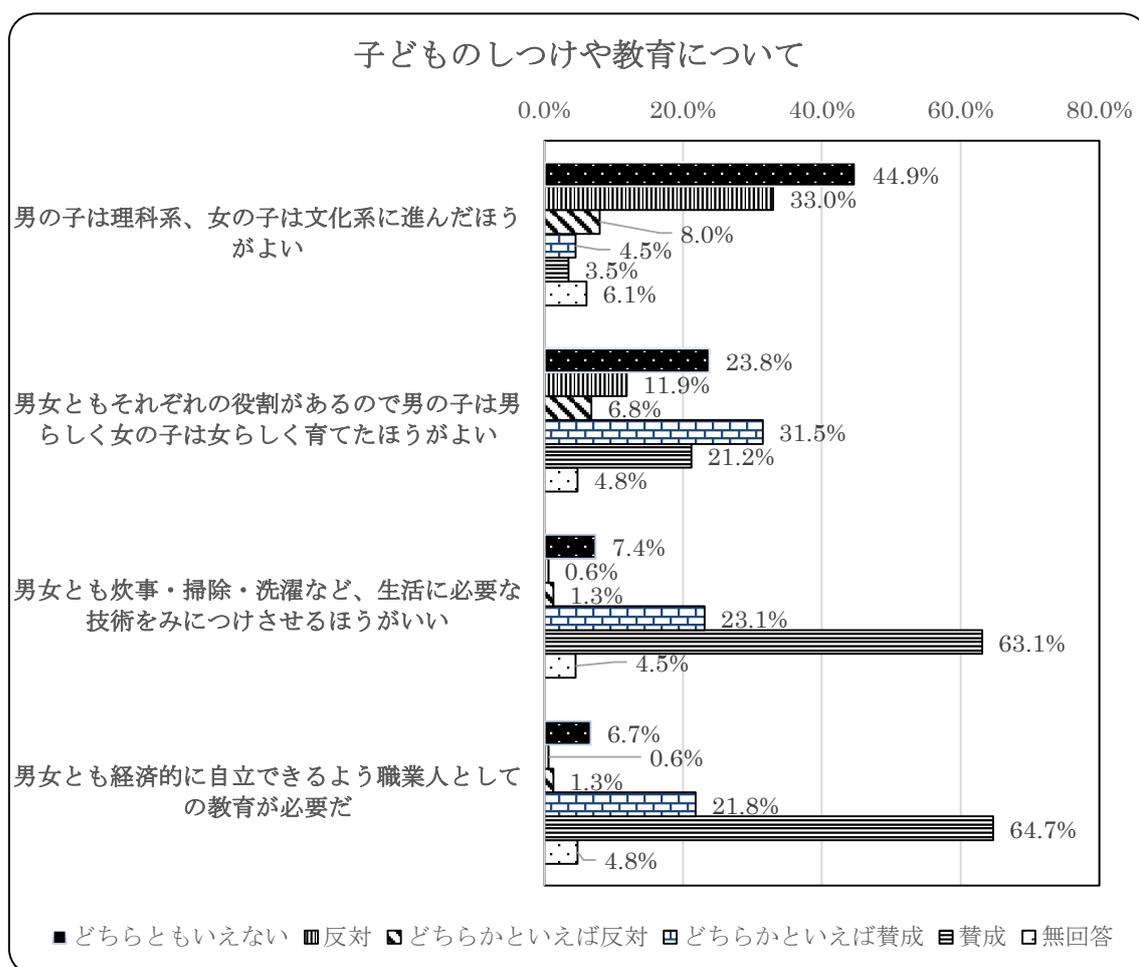
主要施策1-2 男女共同参画を推進する学習・教育環境の整備

現状と課題

学校教育や生涯学習の場では、男女共同参画について多岐に渡る教育・指導がなされ、個性と能力が培われていますが、家庭や地域社会に戻れば、これまでの男性優遇の風潮や、性別による役割分担の習慣などが残り、児童・生徒の生活習慣の形成に大きく影響しています。

また、性教育についても、思春期に正しい知識を持つことは、お互いの性を認め合い、尊重し合うためにも大切な教育の一つです。

男女が共に、それぞれの個性と能力を発揮し、固定的性別役割意識にとらわれない生き方ができる男女共同参画社会を実現するためには、家庭・学校・地域等における教育や学習の果たす役割が非常に大きく、保育・幼児教育・学校教育・家庭教育等で1人ひとりの個性を尊重しあえるよう、男女共同の参画の視点を踏まえた教育・学習の機会の充実を図ります。



平成27年度日南市男女共同参画社会づくりのための市民意識調査

施策の展開

1 教育現場における男女平等や性教育の充実

児童・生徒に対して、性別による役割分担意識の是正に向けた教育の徹底を図り、更に、思春期における性教育の充実を図ることで、男女がお互いに理解し、尊重できる教育を推進します。

2 保護者や教職員等を対象とした男女共同参画に関する講座等の充実

家庭や学校での指導者である保護者や教職員等を対象に、男女共同参画社会の意義を再認識するための研修会や講座等を開催します。

3 地域住民を対象とした男女共同参画に関する講座等の充実

地域住民の代表である自治会長等を対象に、男女共同参画社会の意義を再認識するための研修会や講座等を開催し、地域におけるリーダーを養成します。

施策指標

| 施策の指標 | 単位 | H21 年度 | 現況値 (H26 年度) | 目標値 (H32 年度) |
|-------------------------------------|----|--------|-----------------|-----------------|
| 各小中学校において、年1回以上保護者や教職員を対象とした研修会等の開催 | 回 | — | 年6校 | 年24校 |
| 自治会長等を対象とした研修会 | 回 | — | 年1回 | 年9回 |



男女共同社会づくりのための講座